

会 議 録

| | | | |
|--------|--|--|------|
| 会議の名称 | 第1回茨木市生涯学習施策推進委員会 | | |
| 開催日時 | 令和5年2月21日(火) (午前・ 午後 3時00分 開会) (午前・ 午後 4時30分 閉会) | | |
| 開催場所 | 生涯学習センターきらめき 3階研修室304 | | |
| 委員長 | 今西 幸蔵 委員長 | | |
| 出席者 | 【委員】 今西委員長、井上委員、内山委員、落合委員、木村委員、桑本委員、佐野委員、式田委員、野崎委員、三輪委員、森脇委員、矢野委員、山田委員、 <以上、13名> | | |
| 欠席者 | 安藤委員、三輪委員 | | 【2人】 |
| 事務局職員 | 中井市民文化部長、今西文化振興課長、三宅文化振興課主査、 久保文化振興課指導相談員 | | 【4人】 |
| 開催形態 | 公開 | | |
| 議題(案件) | 1 開会 2 茨木市生涯学習推進計画推進状況報告書について 3 令和3年度茨木市生涯学習センターきらめき事業概要について 4 その他 5 閉会 | | |
| 配布資料 | 1 会議次第 2 令和3年度茨木市生涯学習推進計画事業進捗報告書 3 令和3年度茨木市立生涯学習センター事業報告 4 令和4年度きらめき主催事業一覧 | | |
| 傍聴人 | 0人 | | |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|-------|---|
| 今西課長 | 開会に先立ちまして、新たに本委員会の委員になられた方をご紹介します。 【新任委員の紹介】 |
| 今西課長 | 1 開会 ただ今より、第1回茨木市生涯学習施策推進委員会を開催する。 本日の出席状況は、委員総数15人中、現在13人にご出席いただいているので、委員会規則第6条第2項より、会議は成立している。規定に基づき、議事進行は今西委員長にお願いしたい。 |
| 今西委員長 | 報告のとおり、本会議は定員を満たしていることから、会議を進行する。 まず、議事の進行にあたり、議事の公開についてお諮りしたい。 本会議は公開とし、傍聴者の資料閲覧及び持ち帰りも許可し、ホームページや情報ルームに設置する会議録については、要点筆記の形式で作成する。また発言者の氏名は公表し、内容は委員長に一任していただくということによろしいか。 |
| 委員全員 | 【異議なし】 |
| 今西委員長 | 1 諮問について それでは、まず、「諮問」について、事務局より説明を求める。 |
| 三宅 | 本委員会の開催にあたっては、当委員会規則第2条より、福岡市長より諮問書を受けています。今年度は「茨木市生涯学習推進計画の進捗状況等」について、諮問を受けています。 【諮問の説明について】 |
| 今西委員長 | 事務局より諮問について説明があったが、ご意見ご質問はあるか。 ご意見がないようであれば、次の議題である「1 茨木市生涯学習推進計画推進状況報告書について」について、説明を求める。 |
| 三宅 | 【1 茨木市生涯学習推進計画推進状況報告書について】 |
| 今西委員長 | 事務局から説明があったとおり、コロナ禍という大変な中で、事業が進 |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|-------|--|
| 内山委員 | <p>められており、敬意を示したいと思う。</p> <p>コロナ禍という大変な時期であり、活動実績値の推移が低いため、評価が難しかったと思う。私が事業進捗報告書を見た時は、全体的は概ね順調だと思った。また、特に私が注目した評価は、「C」評価の事業であり、共通した問題もあるため、後ほどお伝えしたい。</p> <p>他、質問やご意見はいかが。</p> <p>生涯学習は生涯学習推進計画を策定した際にも皆さんと考えたように、大変幅広い分野であるため、これだけの多い事業を進めるだけでなく、このような評価の機会に基本目標である「1 まなびづくり」「2 ひとづくり」「3 まちづくり」の分野に分かれて、事業を整理されたという部分は評価以前に意義があるものだと思う。また、事業進捗報告書の内容を公開されるということで、市民の皆さまについても、現在どのような事業が実施され、またその事業は市の施策としてどのように考えているのかが伝わると思う。</p> |
| 落合委員 | <p>たくさんの事業が実施され、またその事業に対する評価も行われることは大変だったかと思う。</p> <p>「C」評価の事業を中心に見ていたが、事業進捗報告書の評価年度が令和3年度であるため、令和3年度に実施した内容を踏まえ、令和4年度は知恵を出して事業を実施されていると思う。産業環境部 資源循環課の事業はいくつかの事業に「C」評価をつけられていると思うが、厳しく評価をされていると思う。事業の詳細部分まで存じ上げていないため申し訳ないが、実は課題設定が本質とずれが生じているのではないかと思う。</p> <p>36 ページ「茨木市廃棄物減量等推進員活動促進事業」は、自治会から委員を推薦してもらうという取組もあるが、自治会そのものの人が減っているという現状を踏まえ、本来の目的を達成するための手段の見直しをされているかと思うが、その部分が気になった。</p> <p>35 ページ「高齢者関係団体育成・支援事業」では、課題には社会背景の変化によって入会者が減少していると記載しているが、「老人」という言葉にネガティブなイメージがあるのではないか。自主的に活動されている方がいる一方で、出歩くことが億劫な方の気を引く名称、例えば「達人クラブ」などを考えてみてはどうかと思った。</p> |
| 今西委員長 | <p>私も「C」評価の気になっていた点は落合委員と同じである。また「老人クラブ」という名称を「達人クラブ」にしてみたら、イメージが変わるのではないかという指摘があった。私がよく使う言葉は「創年」である。</p> |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|-------|--|
| 山田委員 | <p>「老人クラブ」がネガティブなイメージではないが、元気が出るような、力が出るようなネーミングをつけるということはとても大事な提案だと思う。</p> <p>他、いかがか。</p> <p>茨木市は生涯学習都市宣言を採択されているだけあり、多くの事業を実施していると思う。ただ、高齢者は希望する講座があっても、直接会場で学ぶことが困難な場合もある。人や保守の問題はあるが、可能であればオンライン講座を増やしてほしい。</p> <p>私が特に興味がある講座は、47 ページ「川端康成文学館運営事業」であり、定期的に文学講座を対面で実施していると思うが、今後オンラインでの実施を検討頂ければ嬉しい。また、南海トラフ地震関連の講座や健康寿命を伸ばす講座等のオンライン講座を実施してほしい。</p> |
| 今西委員長 | <p>高齢者や障害を持っておられる方々にとって、学びの場が手に入るように考えていただきたい。特に、現在はネット社会であり、インターネットに接続すると講座を受講できるため、オンラインの提案をされたかと思う。オンライン開催は予算などの問題もあるかとは思いますが、諮問に対する意見の場のため、事務局に検討をお願いしたいところである。</p> <p>山田委員の意見で、「防災学習」「生涯健康学習」という柱を立てることについてもご検討いただければと思う。</p> <p>他、いかがか。</p> |
| 式田委員 | <p>事業進捗報告書の 37 から 40 ページに記載されている事業の対象者は、幼稚園児から中学生などの子どもに関する生涯学習の取組があり、保護者に対しても様々な講座がある。これらは、生涯学習推進計画の「3 まちづくり」という基本目標に位置付けられ、生涯学習の活動を行っていたのだなと思った。現場で実施する「放課後子ども教室推進事業」「家庭教育支援事業」「学童保育事業」「青少年健全育成事業」は、私たちの現場では当たり前前に学校とコラボして利用している事業名であるが、これらの事業は生涯学習として支えている事業ということを改めて感じた。</p> <p>放課後子ども教室は、今年度一時期活動ができるようになったものの、感染状況の影響で中止をした。今年2月初めには再開できたものの、実施回数が2、3回しかできないことから、本校の実施も断念せざるを得なかった。</p> <p>ただ、来年度からはコロナが2類から5類になることから、今まで通り活動に注意しながら、実施できればと思う。本当に楽しみに待っている子</p> |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|-------|---|
| | <p>どもたちが多いので、是非学校も一緒になって継続していきたい。</p> <p>また、PTAの保護者の方を中心に、積極的に毎月学校で集まり、活動をしている。この活動は生涯学習のきっかけであり、子どもたちのことを考えることだと思っている。</p> <p>「青少年健全育成事業」は、補助金を交付いただき、学校や様々な講演会を行いながら活動をしている。</p> |
| 今西委員長 | <p>大変貴重なご意見をいただいた。式田委員がおっしゃったように、この事業は生涯学習に位置付けられているという気付きを得て、理解を深めていただいたことは大事なことである。</p> <p>他、いかがか。</p> |
| 木村委員 | <p>コロナ禍という中で大変な時期であったことがあれば、教えてほしい。私はフリーランスであり、かつて病気を患った際に自分の人生と向き合ったため、今回コロナという機会はいいい機会だったのではないかと思う。</p> <p>私は大学で日本画を勉強した際に、余白の大事さを学び、その後の人生を考える際に「余白」という考えが役立った。これからオンラインが使われるかと思うが、課題としてオンラインを教えるのではなく、自分から見つけ出すような学びであれば人生に役立つものになると思う。</p> |
| 今西委員長 | <p>木村委員のご意見は3つのポイントがあった。1つはコロナ禍において困ったことは何か、2つ目は振り返るということである。英語では「リフレクティブ」という言葉がある。自分自身を振り返り、自分を見つめるということは、一番重要なことである。3つ目は、インターネットを使って教えられるのではなく、何歳であっても積極的に私たちは生きている限り学び続ける存在だという大変重い言葉をいただいた。</p> |
| 三宅 | <p>コロナ禍により困った点は、館が臨時休館になり、私たちにとっては生涯学習を提供するという当たり前の日常がなくなってしまったことが1番困ったことであった。利用者より講座等の開催について問合せをいただいても、コロナ禍の状況により出来ない旨を伝えることが凄く苦しいことであった。</p> |
| 今西委員長 | <p>センターの生の声をいただいた。他、いかがか。</p> |
| 井上委員 | <p>少し戻るが、落合委員より自治会関係の件で意見があったと思う。市民協働推進課の方で自治会関係を担当されているかと思うが、IBARAB</p> |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|-------|---|
| | <p>○@広場のイベントを拝見していると、様々な団体が集まっている状態であると思う。</p> <p>自治会はまちづくりの大事なアクターであると思うが、その考えに捕らわれずに事業を行うシーズンに来ているのではないかと思う。</p> <p>私が関わっている茨木フェスティバルでは、令和4年度は開催ができ、目標値である10万人も超えている状態である。実際に市民のご意見ももらっており、このような事業はまちづくりの中でも重要であり、今後もおにクル等ができることから、市民が楽しめるものが増えていくため、これらに連携したものを生涯学習においても参考にさせていただきながら、並行するような形で新しいものを作っただけであればいいのではないかと思う。</p> |
| 今西委員長 | とても元気の出る言葉をいただいた。ありがとうございます。 |
| 今西課長 | 今、井上委員からいただいたご意見というのは、現在行政がとても意識していることである。市民活動は、住んでいる土地・地域に関わる地縁ベース、またIBARABO@広場のような活動ベースの2種類に分かれる。特に最近活動ベースが増えてきているため、今後行政が様々な事業を考える際は、地縁ベースと活動ベースの2つの活動を考えて取り組む必要がある。 |
| 今西委員長 | 他、いかがか。意見がないようであれば、「令和3年度茨木市生涯学習推進計画事業進捗報告書」の報告は以上とさせていただく。次に、「令和3年度茨木市立生涯学習センター事業報告」について説明を求める。 |
| 三宅 | 【3 令和3年度茨木市立生涯学習センター事業報告について】 |
| 今西委員長 | <p>私から1点、市内大学連携事業があるが、立命館大学や藍野大学の名前がある中で意外だったことは、追手門学院大学である。泊先生の名前が後から挙がるが、文部科学省が進める2つの事業の内の1つ「COC+α」における関西の大学は追手門学院大学の名が挙がっているため、疑問に思っている。大学における地域創生人材教育プログラムというものであるが、テーマに沿っているため、また一度検討していただきたい。</p> <p>他、いかがか。</p> |
| 山田委員 | <p>立命館大学の「親鸞の言葉に学ぶ」は、開催場所が生涯学習センター、開催時間は18時30分という夕方の時間帯で実施されている。</p> <p>私は参加したくても場所が遠いことや時間帯が夜であるため、開催時間</p> |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|-------|--|
| 今西委員長 | <p>を午後にしていただくことやオンライン配信をしていただきたいと思う。高齢者は親鸞の言葉を聞いて、終末を迎える準備をしたいと思う。応募された方が全員受講できていると思わないので、時間・場所の影響を受けない方法を検討してほしい。</p> <p style="padding-left: 2em;">高齢者にとってニーズの高いプログラムであると思うので、手法等を検討していただきたい。</p> <p style="padding-left: 2em;">他、いかがか。</p> |
| 今西課長 | <p>ここまで事務局からは、本日諮問させていただいた令和3年度の事業進捗状況の報告である。令和4年度2月に審議会を開催したため、実績の報告は早いですが、現時点での令和4年度の事業進捗、また予算が議会の承認の前なので確定した内容ではないが令和5年度の事業の展開案について、ご報告させていただく。</p> <p>令和4年度きらめき主催事業一覧をご覧いただきたい。こちら令和4年度にきらめきが主催で行っている事業を列挙している。新規で取り組んでいる事業として、アプリの使い方入門や初心者向けスマホ講座のアプリ編、障害者向けスマホ講座など、情報がデジタル化しているところから、市民の皆さまが情報を掴みやすい、得やすいように支援講座を展開している。</p> <p>イベントについて、きらめきフェスタは例年1日での開催を令和4年度は2日間の開催へ拡充する。2日間の開催の理由としては、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、舞台発表や生涯学習登録団体の方々の出演に制限があったが、令和4年度はより多くの団体の方が参加していただけるように開催日数を変更している。</p> <p>また、令和5年度は、引き続き令和4年度に実施した講座やイベントを継続する。きらめき講座は、令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため定員を50%に設定していたが、一部講座を除き、定員100%で開催をする予定である。さらに、企業との連携講座を検討している。</p> <p>また、時期等は調整中ではあるが、令和5年10月以降は生涯学習センターの大規模な空調改修を予定している。閉館期間は、約3か月を予定している。講座の開催に影響が出てくるため、閉館する期間を少しでも短くし、また市民の皆さに講座の提供を確保することを、職員一同考えているところである。どうぞご理解いただきますよう、お願いしたい。</p> |
| 今西委員長 | <p>令和5年度は休館期間が発生するとのことで驚いたが、皆さんご理解いただきたい。他、いかがか。</p> |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|-----|--|
| | <p>それでは、これをもって議事を終了させていただく。ありがとうございました。</p> <p>4 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |